

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2016年51週の県全体の定点当たり報告数は、50週の4.73から増加し9.65となった。8週続けて増加しており、今後の流行状況に注意が必要である。

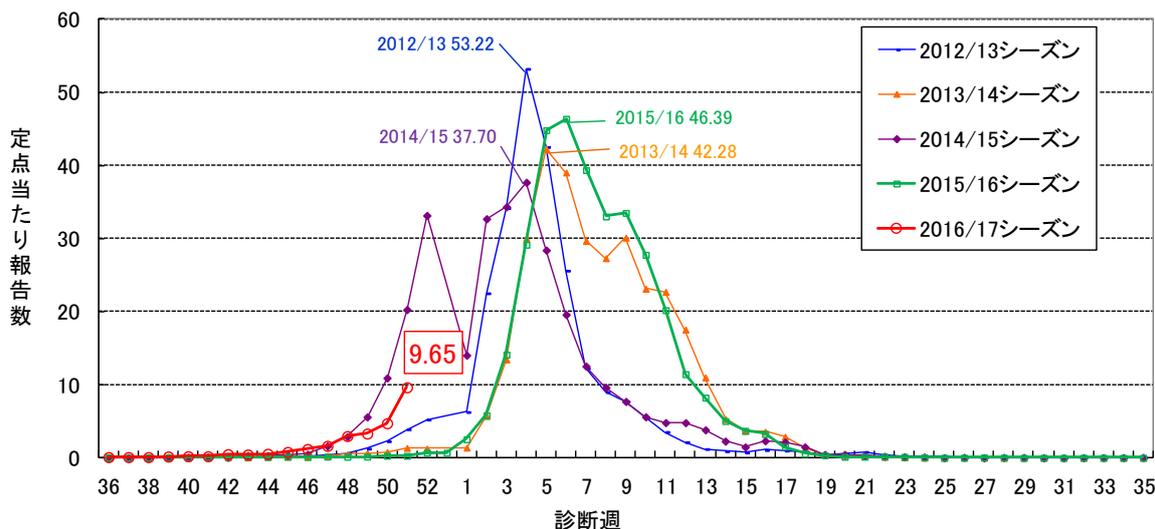
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中15保健所管内で増加し、君津(16.92)、松戸(15.44)、夷隅(12.80)、習志野(12.63)、柏市(10.07)が多い。

2016年51週の年齢群別報告割合は、10～14歳23.2%、5～9歳19.0%、0～4歳9.9%が多く、2016/17シーズン全体では、10～14歳21.4%、5～9歳20.0%、0～4歳11.7%が多かった。

2016年51週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、2,004例中A型1,969例(98.3%)、B型25例(1.2%)、A and B型2例(0.1%)、A or B型8例(0.4%)であった。2016/17シーズン合計では、5,414例中A型5,302例(97.9%)、B型75例(1.4%)、A and B型5例(0.1%)、A or B型32例(0.6%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)  
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



#### インフルエンザ

